

水質事故被害拡大防止訓練座学研修会

- 日時・場所：平成 28 年 9 月 27 日（火）13:30～16:45 甲賀合同庁舎
平成 28 年 10 月 2 日（火）13:30～16:45 ライズヴィル都賀山
- 主催： 滋賀県南部環境事務所 滋賀県甲賀環境事務所 湖南・甲賀環境協会
- 参加者：会員 118 名、会員外 54 名、行政 35 名 計 207 名

油流出等の水質事故被害の拡大防止訓練として「実務訓練」の前に、「座学・通報訓練」として開催しており、昨年度より甲賀広域行政組合消防本部ならびに湖南広域消防局より、講演をお願いし、今年度は「危険物漏洩事故の予防と事故発生時の対応について」のテーマで開催しました。

環境事故防止を起さない（事故対策の自主管理方法）、万が一事故が起きた場合被害を最小限に抑えるにはどうしたらいいか（クライシスマネジメント）、今回も環境事故に学ぶ被害拡大防止と再発防止、危険物（油を含む）漏洩事故の予防と事故発生時の対応について講演をしていただきました。又 網援後実際の事故を想定し、緊急対応体制の確立と担当部所間の連携についての通報訓練を実施しました。

この研修会は滋賀県より大変有効と認めていただき、管外の滋賀県職員の参加はもとより、管外の市町環境担当職員、また、社会貢献の一貫として一般の参加も受入ました。



進行：地区懇部会長（甲賀会場）御子柴氏
京セラ株式会社滋賀野洲工場



協会副会長（南部会場）中川氏
パナソニック株式会社 AS 社



ご挨拶 滋賀県甲賀環境事務所 谷口所長



滋賀県南部環境事務所 川部副参事

1. 環境事故に学ぶ

～被害拡大防止と再発防止に向けて～

講師：NPO びわ湖環境 理事長 森 毅氏、理事 佐野 由明氏



甲賀会場 佐野 由明氏



南部会場 森 毅氏

近年は低炭素社会、循環型社会、生物多様性・・・と環境の対象分野は大変多くなりました。

そんな中、今一度足下を見つめ、環境事故防止に努めることが重要です。油等流出事故が起こったら、被害・損害は大きく、事故への対処が悪かったら、企業のイメージダウンにつながります。失敗から学ぶとして、過去の事故事例の紹介をいただき、どのような観点で自主管理するべきだったか説明いただきました。

事故防止の対策として、

①施設・設備のリスクに応じた整備、運用システムの構築。

緊急資材の準備・劣化していないか定期的な点検

②リスクの存在とその大きさを見誤らない目を養う。

機能する組織の構築 適正な人数、人の教育 マニュアルの整備、地域・行政とのコミュニケーション。教育や訓練

③失敗原因の根本的、本質的対策

事故が発生したら目に見えやすい直接原因、間接原因のみを除去するにとどまってしまうが顕在する間接要因、潜在要因、背後要因の具体的にあげて対処することが大切です。

④リスク情報は意識の共有まで高める。

⑤法の求める事項について対応が必要。

事業者の公害防止に関する環境ガイドラインに具体的な確認ポイントがあるので社内で共有化して下さい。

2. 危険物漏洩事故の予防と事故発生時の対応について

講師：甲賀会場 甲賀広域行政組合消防本部 予防課 危険物指導係長 田村 季之氏
南部会場 湖南広域消防局 防災指導課 危険物指導係長 木村 興四郎氏



甲賀会場 田村 季之氏



南部会場 木村 興四郎氏

本年は甲賀広域行政組合消防本部 田村係長から危険物施設事故の概要の中で、発生件数の推移から発生要因、発生原因等詳しく説明いただき、特に火災事故については、維持管理や操作に当たっての不手際など、人的要因によるものが多くを占めている。

又、流出事故については、物的要因が多くを占めており、特に腐食疲労等経年劣化によるものが増加傾向にあるとの説明を頂きました。

危険物漏洩事故発生時の対応は、事故発生時の応急措置、事故発見者の通報義務、消防への情報提供する必要性、特に情報提供については詳細な状況の報告が必要となる。

湖南広域消防局 木村係長からは危険流出事故の防止と対応について、危険物が関連する事故概要の全国の状況、滋賀県の状況、管内の状況について説明をいただき、特に管内の実情を事故事例にて詳細な説明がなされ、流出事故を防ぐ前提事項・技術的対策・管理的対策・教育的対策・応急措置と活動例そして甲賀広域行政組合消防本部と同様消防への通報内容例について説明を頂きました。

3. 通報訓練

今年例年同様の実演による通報訓練として、事故発生時の本部立ち上げ、関連部門への通報、水路図確認等実演いただき、新たに事故事例シートによる消防への第一報通報訓練を行いました。甲賀地区は住友電工ウインテック(株)、南部地区はダイハツディーゼル(株)様が事故発生事業所として対応していただき、6企業様に実働部隊としての役割を訓練いただきました。

新たな企画の事故事例シートによる第一報通報訓練では甲賀、南部地区合わせて8企業様に訓練いただき、事故状況の詳細な通報とはを考えさせられ、有意義な訓練となりました。

1) 通報訓練（実演）

【甲賀地区】



本部立上げと実働部隊への作業指示



水路図による流出経路の説明



行政への事故状況報告

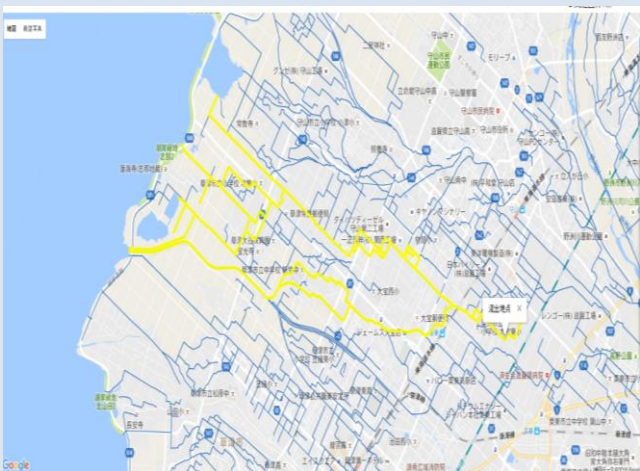
【南部地区】



本部立上げと実働部隊への作業指示



実働部隊から対策本部長への状況報告



水路図での流出経路の説明



行政への事故状況説明

2) 事件事例シートによる第一報通報訓練



事件事例シートによる第一報通報訓練では、事故シート内容の状況をどのように判断し、消防への通報をするかの訓練でした。



消防からは全ての詳細な情報についての問合せがあり、事故発生の当事者として状況判断及び処置をどのようにしているか、負傷者はいないか、二次災害の恐れはないか等多くの課題が情報として必要であり、いかに第一報通報が重要か改めて考えさせられました。

4. 訓練の総評



甲賀広域行政組合消防本部



湖南広域消防局

甲賀地区、甲賀広域行政組合消防本部 消防指令長 西村氏、南部地区、湖南広域消防局 木村係長から訓練の総評を受ける。

今回の訓練はシナリオあつての通報訓練ですが、最後に実施頂いた事件事例シートのように事故の

状況を的確に判断し、早い段階での通報が一番重要になります。常にあわてることなく通報が出来るよう日頃の訓練が必要であり、危険物漏洩に関しては漏洩した物質が何なのかによって、対応の仕方が変化するため重要な要素になります。

各企業様においては、事故を起こさないためにも施設の日常点検、また訓練を通じて通報の仕方、体制づくりをお願いしたい。

最後に湖南・甲賀環境協会 会長 石山 利則氏（積水化学工業(株)滋賀水口工場）より、企業として環境事故を起こさないよう、常に訓練や日常点検を通じて努力を絶やさないようにしたいとの挨拶いただきました。



甲賀地区での挨拶



南部地区での挨拶

以上